



けすぞう新聞

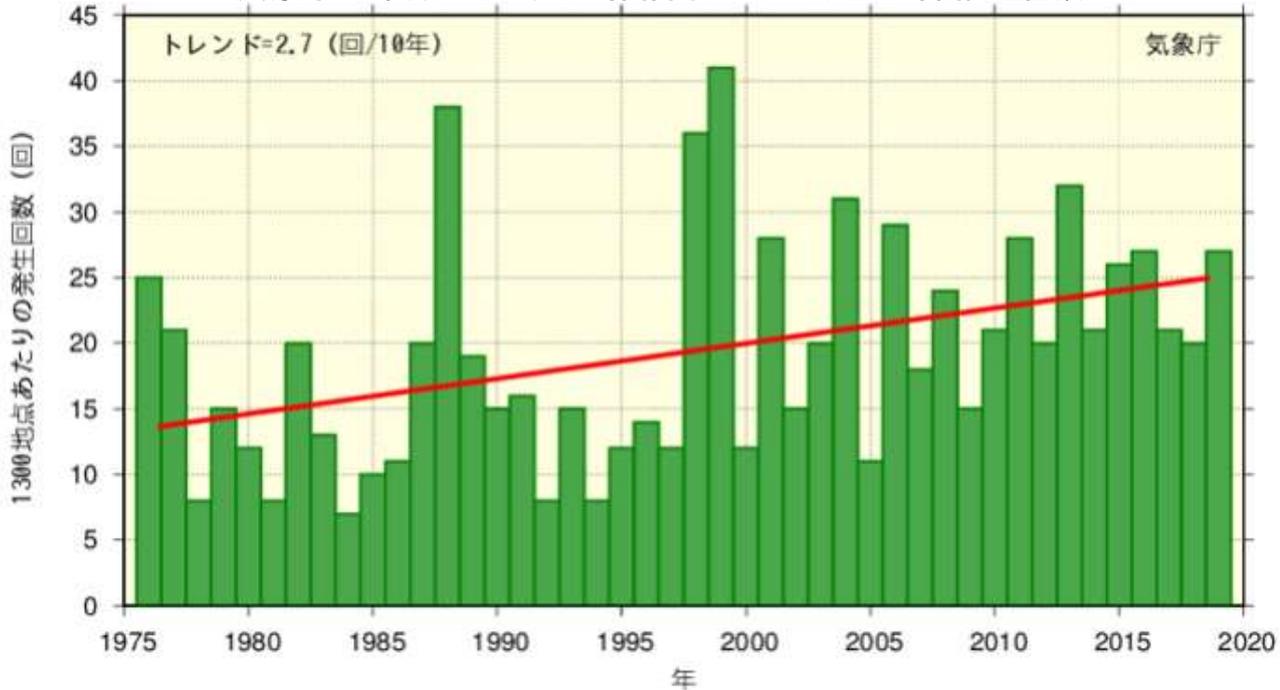
2020年7月発行
NO.31
播磨町消防団女性分団

激しい雨が続く時、どうしますか

雨の降り方が変わってきています

平均気温の上昇が続くのに合わせるように、激しい雨が降る回数が増え、大規模な水害が相次いでいます。

気象庁 全国(アメダス)の1時間降水量80mm以上の年間発生回数



警戒レベルも見直されました

2018年に起きた西日本豪雨のあと、2019年6月から大雨防災情報区分が5段階に細分化されました。

警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
心構えを高める (気象庁が発表)	避難行動の確認 (気象庁が発表)	避難に時間を要する人は避難 (市町村が発令)	危険な場所から 避難 高齢者等は 避難 (市町村が発令)	危険な場所から 全員避難 (市町村が発令)	危険な場所から 避難 (市町村が発令)

●避難情報のポイント

- ・安全な場所にいる人は避難する必要はありません。
- ・危険な場所から警戒レベル3で高齢者などは避難できるよう、レベル2で備えるようにしましょう。

警戒レベル5が出てはまだ避難ができていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があれば、そこに移動するなど、**命を守るための最善の行動**を取って下さい。

避難勧告等が発令されていなくても危険度分布や河川の水位情報等を用いて**自ら避難の判断**をしてください。避難する時は、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、**自らの判断**でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。